

筑西広域市町村圏事務組合標準的な職及び標準職務遂行能力を定める規程

平成 29 年 3 月 30 日

訓令第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第15条の2第1項第5号及び第2項の規定に基づき、職制上の段階の標準的な職（以下「標準的な職」という。）及びその職務を遂行するうえで発揮することが求められる能力（以下「標準職務遂行能力」という。）を定めるものとする。

(標準的な職)

第 2 条 標準的な職は、別表第 1 の左欄に掲げる職制上の段階の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。

(標準職務遂行能力)

第 3 条 標準的な職ごとの標準職務遂行能力は、別表第 2 の標準的な職の欄に掲げる職の区分に応じ、同表標準職務遂行能力の欄に定めるとおりとする。

附 則（平成 29 年 3 月 30 日訓令第 3 号）

この訓令は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1（第2条関係）

1 管理者の事務部局

職制上の段階	標準的な職
筑西広域市町村圏事務組合職員の職名に関する規定（平成17年組合規程第3号。以下「規程」という。）別表事務局長の項役職名の欄に規定する職	事務局長
規程別表次長の項役職名の欄に規定する職	次長
規程別表課長の項役職名の欄に規定する職	課長
規程別表課長補佐の項役職名の欄に規定する職	課長補佐
規程別表係長の項役職名の欄に規定する職	係長
規程第2条に規定する職（事務局長、次長、課長、課長補佐、係長及び技能労務職員の職を除く。）	係員
規程第2条に規定する技能労務職員の職	技能労務職

2 消防本部

職制上の段階	標準的な職
筑西広域市町村圏事務組合消防職員の職名に関する規程（平成29年組合規程第1号。以下「規程」という。）別表消防長の項役職名の欄に規定する職	消防長
規程別表消防次長の項役職名の欄に規定する職	消防次長
規程別表消防本部課長の項役職名の欄に規定する職	消防本部課長
規程別表消防本部課長補佐の項役職名の欄に規定する職	消防本部課長補佐
規程別表係長の項役職名の欄に規定する職	係長
規程第2条に規定する職（消防長、消防次長、消防本部課長、消防本部課長補佐及び係長を除く。）	係員

別表第2（第3条関係）

1 管理者の事務部局

標準的な職	標準職務遂行能力	
事務局長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、事務局の事務並びに共同処理事務事業に関係する施設の重要課題に対して責任を持って取り組むことができる。
	構想	長期的な展望に立った判断を行い、組織の方針及び目標を部下に示すことができる。
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。
	組織運営	指導力を発揮して部下を統率するとともに、広く意見を吸い上げて組織運営に取り入れることができる。
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。
次長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、事務局の事務並びに共同処理事務事業に関係する施設の課題に対して責任を持って取り組むことができる。
	構想	管理者の事務部局の方針や目標に基づき、その達成に向けた立案をすることができる。
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。
	組織運営	事務局長の補佐役として助言や進言を行うとともに、関係者との調整や連携を図ることができる。
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。
課長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、課の課題に対して責任を持って取り組むことができる。
	構想	管理者の事務部局の方針や目標を理解したうえで、課の方針や目標を部下に示すことができる。
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。
	組織運営 人材育成	職場の活性化及び部下の指導・育成を図ることができる。
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。
課長補佐	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、課及び担当業務の課題に対して責任を持って取り組むことができる。
	知識・技術	情報収集並びに専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。

	企画・立案	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握するとともに、課の方針及び目標を踏まえた企画立案をすることができる。
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、業務情報を適切に活用し、スピード感及びコスト意識を持って業務に取り組むことができる。
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図るとともに、関係者に対して分かりやすい説明や調整を行うことができる。
係長	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、担当業務に対して責任を持って取り組むことができる。
	知識・技術	情報収集並びに専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。
	企画・立案	担当業務の課題に対して、課の方針及び目標を踏まえた企画立案をすることができる。
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、業務情報を適切に活用し、スピード感及びコスト意識を持って業務に取り組むことができる。
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図り、グループ内でのリーダーシップを発揮することができる。
係員	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、担当業務に対して責任を持って取り組むことができる。
	知識・技術	専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。
	目標管理	課の方針及び目標に基づいて目標を設定し、目標達成のための手法及び手段を具体的に展開することができる。
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、積極的に業務に取り組むことができる。
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図ることができる。
技能労務職	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、担当業務に対して責任を持って取り組むことができる。
	知識・技術	業務に関する知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。
	業務遂行	スピード感及びコスト意識を持って業務に取り組むとともに、事故防止のための措置を講ずることができる。
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図ることができる。

2 消防本部

標準的な職	標準職務遂行能力		階級
消防長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、消防本部の重要課題に対して責任を持って取り組むことができる。	消防正監
	構想	長期的な展望に立った判断を行い、組織の方針及び目標を、部下に示すことができる。	
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。	
	組織運営	指導力を発揮して部下を統率するとともに、広く意見を吸い上げて組織運営に取り入れることができる。	
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。	
	組織統率	高い指導力を発揮し、部下の統率を行い、成果を挙げることができる。	
消防次長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、消防本部の課題に対して責任を持って取り組むことができる。	消防監
	構想	消防本部の方針や目標に基づき、その達成に向けた立案をすることができる。	
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。	
	組織運営	消防長の補佐役として助言や進言を行うとともに、関係者との調整や連携を図ることができる。	
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。	
	組織統率 人材育成	高い指導力を発揮し、部下の統率を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行うことができる。	
消防本部課長	倫理	全体の奉仕者としての高い倫理観を有し、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、所属の課題に対して責任を持って取り組むことができる。	消防司令長
	構想	消防本部の方針や目標を理解したうえで、課の方針や目標を部下に示すことができる。	
	判断	筋道を立てて思考し、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。	

	組織運営 人材育成	職場の活性化及び部下の指導・育成を図ることができる。	
	業務管理	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握し、スピード感及びコスト意識を持った業務管理を行うことができる。	
	指揮 消防活動	災害状況を的確に把握した上で、自ら活動方針を決定し、全部隊の統括的な指揮を行い、成果を挙げることができる。	
消防本部課長 補佐	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、課及び担当業務の課題に対して責任を持って取り組むことができる。	消防司令
	知識・技術	情報収集並びに専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。	
	企画・立案	住民ニーズを柔軟かつ的確に把握するとともに、課の方針及び目標を踏まえた企画立案をすることができる。	
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、業務情報を適切に活用し、スピード感及びコスト意識を持って業務に取り組むことができる。	
	部下の活用・育成	部下の統率、活用を行うとともに、指導・育成を行うことができる。	
	指揮 消防活動	災害状況を的確に把握した上で、自ら活動方針を決定し、出場部隊の統括的な指揮を行い、成果を挙げることができる。	
係長	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、担当業務に対して責任を持って取り組むことができる。	消防司令補
	知識・技術	情報収集並びに専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。	
	企画・立案	担当業務の課題に対して、課の方針及び目標を踏まえた企画立案をすることができる。	
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、業務情報を適切に活用し、スピード感及びコスト意識を持って業務に取り組むことができる。	
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図り、グループ内でのリーダーシップを発揮することができる。	
	消防活動	災害状況を的確に把握し、上位階級者の下命又はこれがないときには自らの判断により自隊の活動方針を決定し、指揮・消防活動を行うことができる。	

主任	倫理	全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、社会規範及び職場の規律を遵守して、公正に職務を遂行することができる。	消防士長
	知識・技術	専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。	
	目標管理	各所属の方針及び目標に基づいて目標を設定し、目標達成のための手法及び手段を積極的に展開することができる。	
	業務遂行	目標達成に向けて、計画的な進捗管理を適正に行うとともに、積極的に業務に取り組むことができる。	
	コミュニケーション	職場内外において、円滑かつ適切なコミュニケーションをとることができる。	
	消防活動	自己の隊長の下命の下、災害状況に応じて、より効果的な消防活動を行うことができる。	
係員	倫理	全体の奉仕者としての自覚を持ち、社会規範及び職場の規律を遵守するとともに、担当業務に対して責任を持って取り組むことができる。	消防副士長 消防士
	知識・技術	専門的知識及びノウハウの習得に努め、担当業務に活用することができる。	
	目標管理	各所属の方針及び目標に基づいて目標を設定し、目標達成のための手法及び手段を具体的に展開することができる。	
	業務遂行	目標達成に向けて計画的な進捗管理を行うとともに、積極的に業務に取り組むことができる。	
	コミュニケーション	職場内での積極的な意思疎通を図ることができる。	
	消防活動	自己の隊長の下命の下、災害状況に応じた消防活動を行うことができる。	